

血液内科専攻医研修カリキュラム

原則として 3 年間のコースであるが、初期研修で十分研修できず、当科の短期研修(数ヶ月)を希望する場合も 1 年次の研修内容を中心として研修可能とし、他の内科を研修することも可能である。

1 研修目標

内科医としての基礎を形成するとともに、血液疾患の診断と治療ができるための能力を身につける。日本内科学会認定医、日本血液学会専門医、日本内科学会総合内科専門医、がん薬物療法専門医になるために必要な知識、技能を身につける。担当指導医の指導のもとに主治医として責任をもって診療に従事する。研修医、医学生に対して適切な教育ができる。

2 研修内容

1) 1 年次

(1) 血液疾患患者の診察

一般理学所見(特にリンパ節腫大の有無、脾腫の有無、出血傾向の有無、感染巣の有無)

(2) 血液疾患に必要な検査の理解

末梢血一般、白血球分類、凝固線溶系検査、骨髓像、染色体検査、モノクローナル抗体検査、遺伝子解析検査、その他診断に必要な検査、輸血検査(血液型、不規則抗体、交差試験)

(3) 血液疾患に必要な検査の実施

骨髓穿刺

(4) 血液疾患の診断

鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、溶血性貧血、再生不良性貧血、骨髓異形成症候群など貧血の鑑別と診断

造血器腫瘍の診断

血小板あるいは凝固線溶系に異常を来す疾患の鑑別と診断

(5) 血液疾患の治療

鉄欠乏性貧血の食事療法と薬物療法

巨赤芽球性貧血の薬物療法

溶血性貧血の薬物療法

再生不良性貧血の薬物療法

骨髓異形成症候群の薬物療法

急性白血病の寛解導入療法の基礎

慢性骨髄性白血病慢性期の薬物療法

悪性リンパ腫の化学療法の基礎

多発性骨髄腫の化学療法
造血幹細胞移植療法の基礎
DIC の治療

- (6) 造血器疾患に合併する感染症の治療
- (7) 輸血療法
- (8) 移植用の骨髄液採取

2) 2年次

(1) 検査の理解 骨髄像

(2) 治療

急性白血病の化学療法
悪性リンパ腫の化学療法
大量化学療法の治療管理
同種骨髄移植の治療管理
同種末梢血幹細胞移植の治療管理
臍帯血移植の治療管理
自己末梢血幹細胞移植の治療管理

3) 3年次

(1) 検査の理解 骨髄像

(2) 治療

大量化学療法の治療管理
同種骨髄移植の治療管理
同種末梢血幹細胞移植の治療管理
臍帯血移植の治療管理
ハプロ移植の治療管理
自己末梢血幹細胞移植の治療管理
急性白血病再発時の治療
慢性骨髄性白血病急性転化時の治療

3 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	病棟回診	病棟回診	病棟回診	主任部長回診	骨髄採取
午後	血液カンファ レンス	移植カンファ レンス	内科カンファ レンス	病棟回診	造血細胞移植

※末梢血幹細胞移植・臍帯血移植は随時施行

4 目標に対する自己評価と指導医の評価

それぞれの項目について、年次毎に A:目標に到達、B:目標に近い、C:目標に遠い、の3段階で自己評価と指導医による評価を行う。習得できていない点については、指導医と相談し重点的に習得できるように努力する。